

【Vol.12】

今回は、いつものメールマガジンと雰囲気を変えてみて、生物多様性に関するコラムをお届けします！

「タヌキのため糞」について、堺自然ふれあいの森のチーフレンジャー木下裕美子さんに教えていただきました。

堺自然ふれあいの森では現在、園内の3ヶ所でタヌキの「ため糞」を観察することができます。タヌキは一頭もしくは家族単位で同じ場所に糞をするので、それが溜まると糞の山が出来ます。

「糞」と書くと、「汚い」「気持ち悪い」と思われる方もいるかも知れませんが、「ため糞」の楽しみはこれからです。糞を崩して中を観察してみると、柿やムクノキ、フユイチゴなどのタネがぎっしり入っていました。条件を整えば、翌年の春に発芽し、ため糞は緑に覆われます。

動物の糞は植物にとって貴重な種子散布の担い手です。

糞が森を作るなんて、興味深いと思いませんか？

堺自然ふれあいの森については、堺いきもの情報館のおでかけコース

<http://www.sakai-ikimono.jp/course/detail/8>

でも紹介しています。

ぜひ、みなさま、遊びに行ってみてください！

これからも時々、コラムをお届けしたいと思います。

堺市生物多様性メールマガジンをよろしくお願ひします！